



あらゆるLIFEを、FULLに。

Well-beingとは

肉体的にも、精神的にも、そして社会的にも、
すべてが満たされた状態にあること(WHO憲章)

Well-beingに寄与する考え方・行動

ENHANCEと呼ばれる介入では、10の提案がされている。

1. 自身が大切にする**価値と役割**を考える
2. **目標**に向かっての実現を描く
3. **自分の強み**を知り、活かそうとする
4. **マインドフルネス**の知識と実践
5. **否定的なこととの付き合い方**
6. **楽しみを味わう**
7. **親しい人間関係**と喜びなどを分かち合う
8. **感謝**のエクササイズ
9. **社会との交流**を身近なところから増やす
10. **社会のための行動**、人や社会のために貢献する価値を学ぶ

Ikigai

A JAPANESE CONCEPT MEANING "A REASON FOR BEING"



「自分らしくを、もっと自由に」

.....

人々を場所の制約から解放し、
いつでも好きな時に、
好きな場所に住み、
働き、学べる社会を創ります。

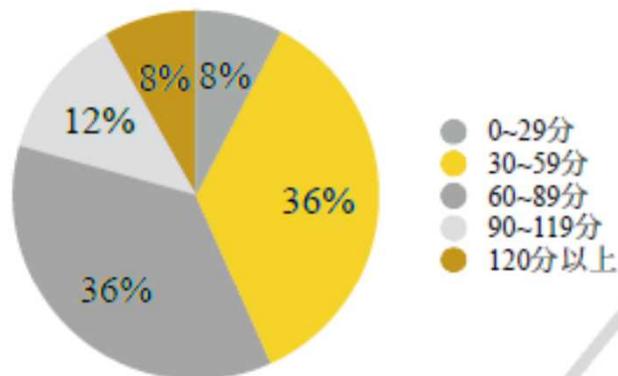
一般社団法人 Living Anywhere
www.livinganywhere.org



解決する課題

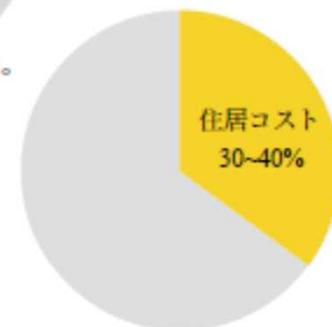
都市への人口集中

首都圏で勤務するビジネスマンのうち半数以上が片道1時間以上かけて通勤している。

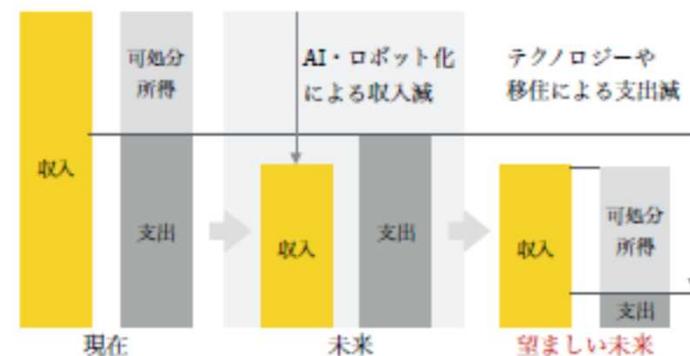


住居にかかるコスト

住宅にかかるコストは、生涯の収入の3~4割にのぼる。



さらにAIの普及により、一人当たりの所得の減少が想定され、生活コストの削減が求められる。



オフグリッドの世界が実現すると

インフラ（既存のグリッド）

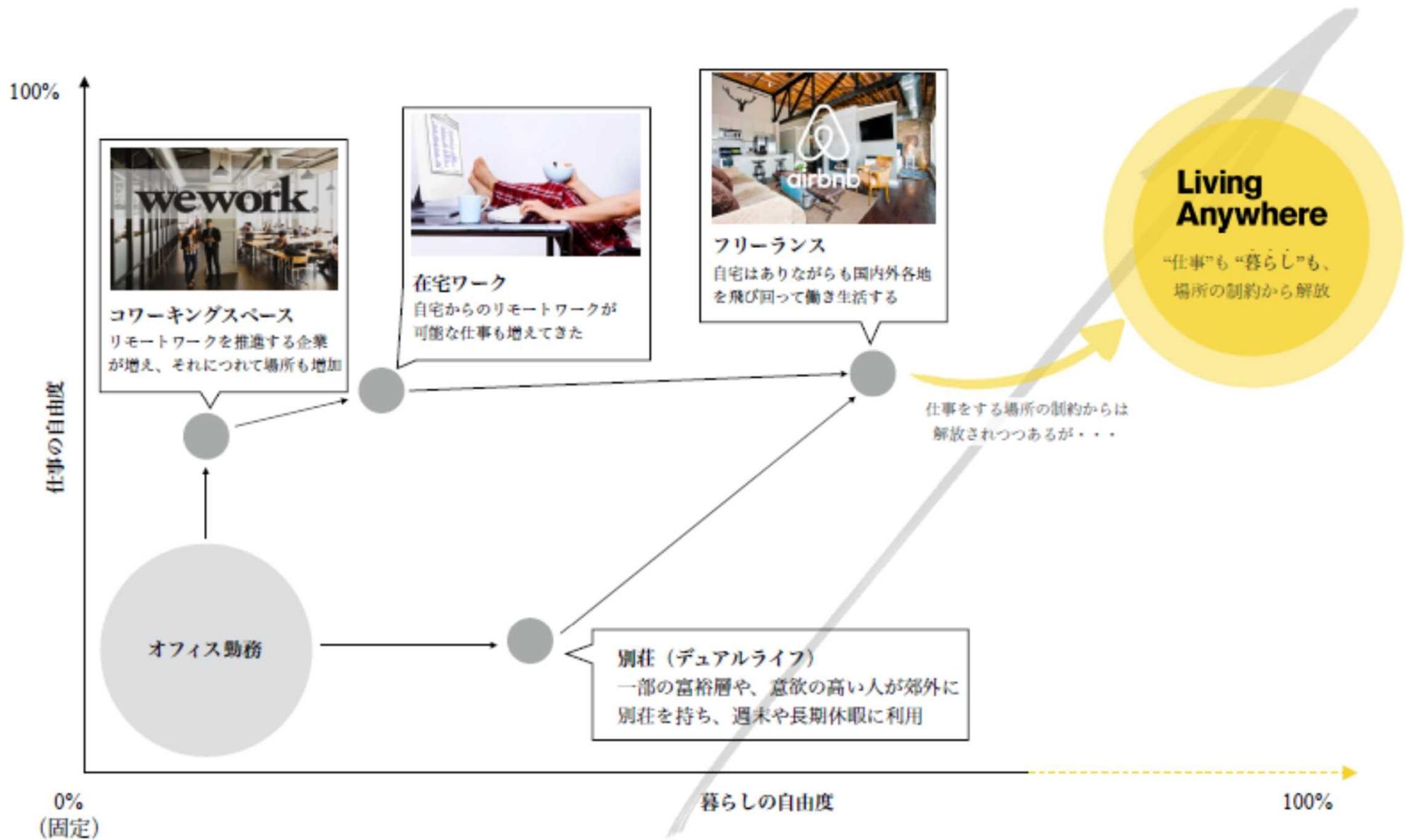
- ・ 整備：400兆円
- ・ 老朽化による維持コストも増加
- ・ 地方人口減少、過疎化の中で維持できなくなる可能性も。



オフグリッド

- ・ 地方財政悪化の歯止め
- ・ 災害時対応
- ・ 発展途上国に貢献





Living Anywhereを実現するためのソリューション



LA Spotとしての廃校の利用



02
旧浜中学校
沖縄県うるま市
通年使用可ほぼ決定



03
福島県会津地方



LIFULL

NEW OFFICE CONCEPT



ENGAWA



NEW OFFICE CONCEPT

築50年のビルを一棟借りし
フルリノベーション

“新しいコミュニケーションの場”

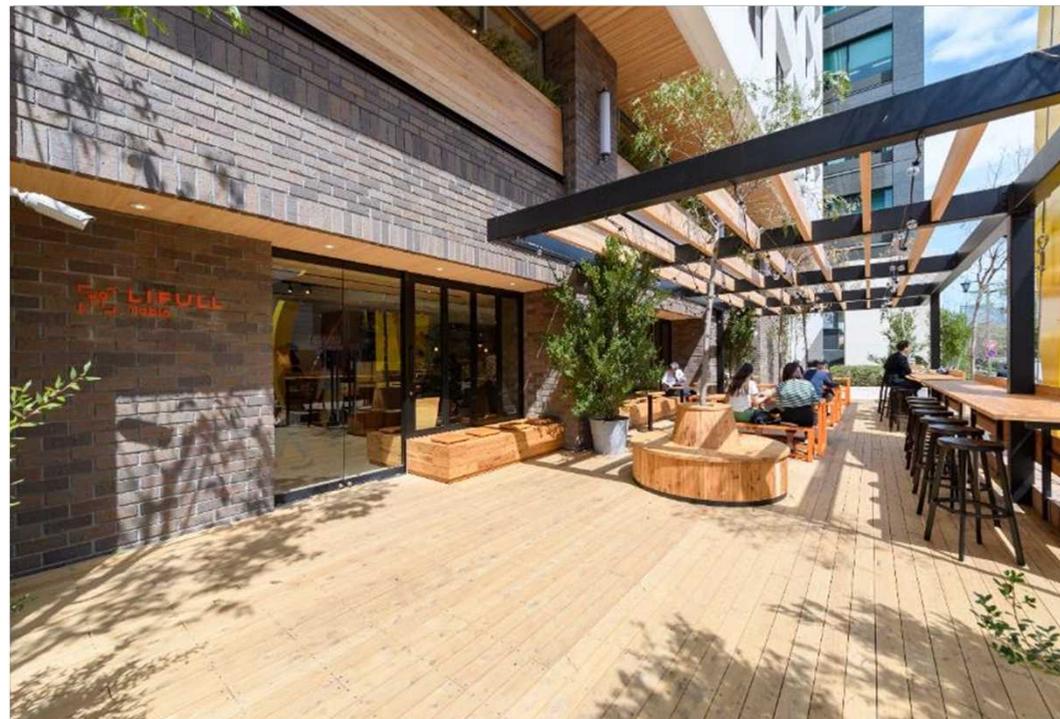
誰もが遊びに行きたいと思う場所
社内外の情報の発信地
心地よく交流ができる環境





社内外の垣根を越えて
地域に憩いと交流の場を
もたらすデリ食堂

安心安全・バランスの良い食事で
ランチ利用や打ち合わせに最適





未来の暮らしを変えていく
共創を生み出す
コワーキングスペース



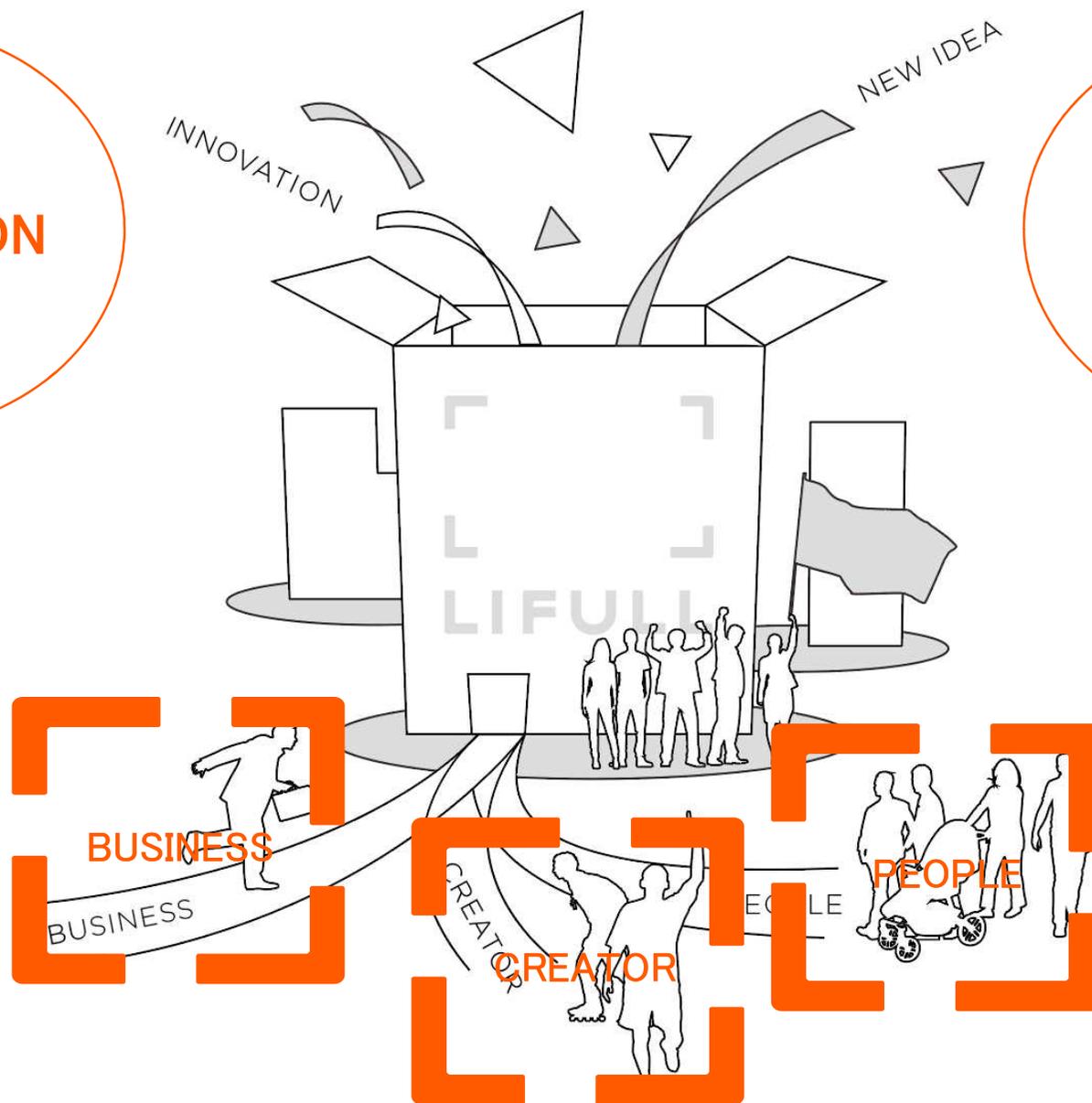
LIFULL Fabで
暮らしの実験も可能に



イノベーションの拠点へ

INNOVATION

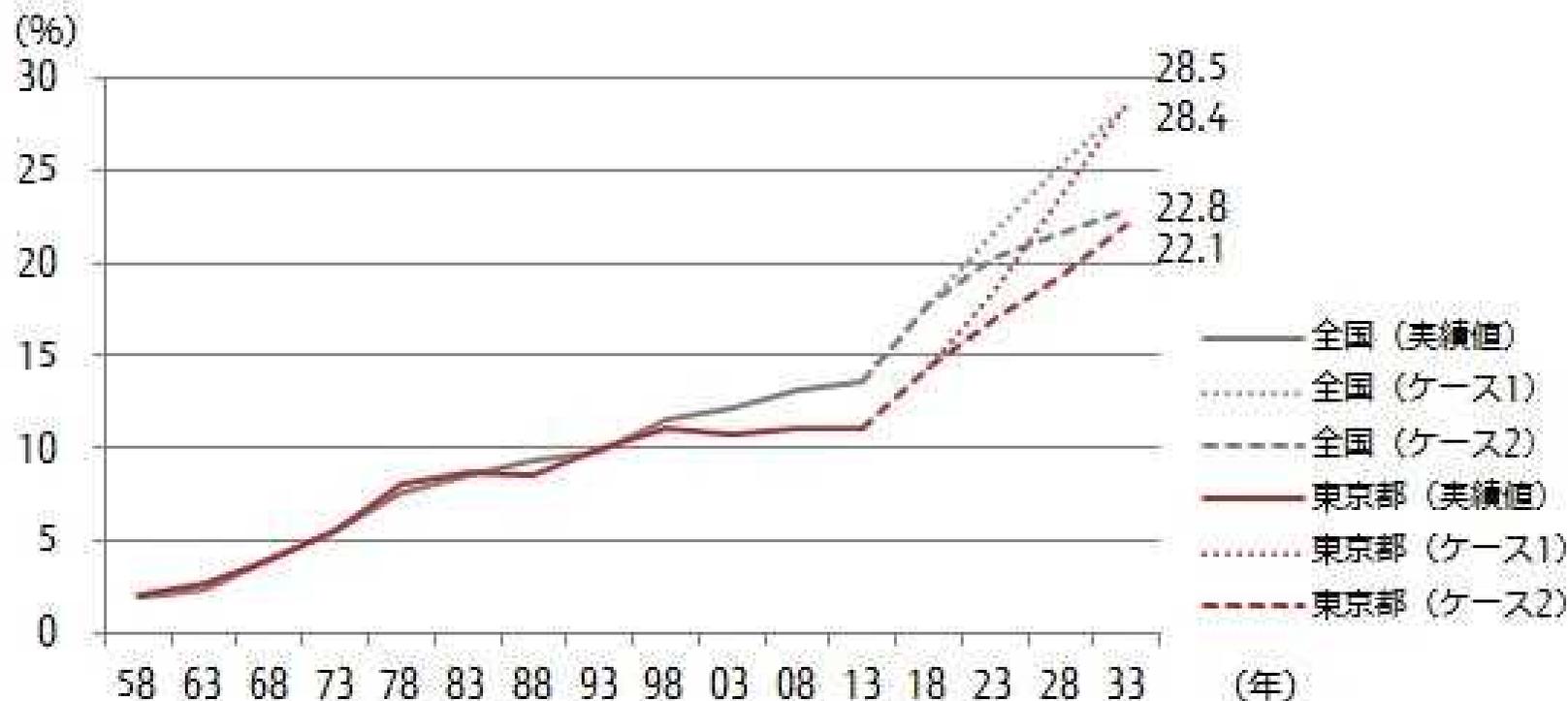
NEW IDEA



新築不動産総量規制について

今後の空き家率試算

直近の平均的な新築着工及び住宅取り壊しペースを維持すると、2033年の空き家率は28.5%に(ケース1)
 新築を段階的に半分まで減らし、取り壊しを段階的に2倍まで増やしても空き家率は22.8%に(ケース2)



(出所) 富士通総研

<http://www.fujitsu.com/jp/group/fri/column/opinion/201503/2015-3-1.html>

- (注)
- 各ケースの想定は以下の通り
 [ケース1] 新設住宅着工戸数：直近の平均的水準で推移。
 減失率：過去10年間（2003～2008年、2008～2013年）の平均で推移
 [ケース2] 新設住宅着工戸数：直近の平均的水準から5年ごとに段階的に減少し、最後の5年間（2029～33年）の水準はその半分の水準になると想定。
 減失率：過去10年間の平均から段階的に上昇し最終的に2倍になると想定
 - 新設住宅着工戸数の直近の平均的水準は、2010～12年の平均とした。
 この3年間の平均としたのは、過去5年間のうちリーマンショック後の着工落ち込み（2009年）と消費税引き上げ前の着工増加（2013年）の特殊要因を除外するため
 - 減失率 = (5年間の新設住宅着工戸数の合計 - 5年間の総住宅数の増加数) / 5年間の新設住宅着工戸数の合計
 - 世帯数の予測は、国立社会保障・人口問題研究所に基づく



Appendix



キッズスペース付き事務所としての空き家の活用



- ・女性の労働力率(M字カーブ)谷世代の就労支援
- ・ママも子供もHAPPYな環境